

新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部
(新型インフルエンザ等対策本部)
知事メッセージ

令和4年3月29日
青森県危機対策本部

新型コロナウイルス感染症に係る対応について

青森県内の感染状況は、病床使用率が概ね20パーセント台で推移している一方で、新規感染症患者の発生は高止まりの状態が続いており、依然として厳しいものと認識しております。

特に、保育施設や小学校などでクラスターが頻発するとともに、直近1週間では、新規感染症患者のうち4割以上が10歳未満と10代が占めている状況です。また、重症化リスクの高い高齢者等が利用する施設でもクラスターが散見されており、今後、高齢者に感染が拡大すれば医療提供体制に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

そこで、県では、保育施設や重症化リスクの高い高齢者施設などで、早期に感染者を把握し、感染の拡大を食い止めるために「抗原定性検査キットを活用した積極的検査」を実施することとしました。

具体的には、県内全ての保育施設、高齢者施設、障害者施設などを対象に、職員・利用者用の検査キットを配付するほか、県外からの転入者等に対しても、市町村で検査キットを配付できるようにし、それぞれ活用していただくものです。

また、保健所における積極的疫学調査についても、感染が広がっ

ている同一世帯内の同居者や保育施設、高齢者施設などに対して集中的に実施することとします。

その一方で、安定した日常生活に必要な経済社会活動を維持するために、比較的感染リスクが低い事業所等では、当面の間、濃厚接触者を特定して出勤させないなどの行動制限を一律に求めないこととします。

その上で、無料のPCR等検査も継続することといたしましたので、感染不安を感じる無症状の方は御利用ください。

なお、県内全域を対象として本県が独自に実施している感染防止対策については、進学・就職・転勤等に伴う人の流れが落ち着く4月10日までは継続することとしていますので、何とぞ御理解と御協力をお願いいたします。

「STOP！オミクロン」

春が訪れ、人の流れや人同士の接触機会が増加する今が、感染拡大を抑えられるかの正念場です。

○感染を広げないために、熱、のど、せきなど、具合が悪い時は出勤を控え、医療機関に相談してください。子どもの登園等も同様です。

○家庭内の感染も増えていますので、御家族に感染が疑われる人や具合が悪い人がいたら、自宅でも、できるだけ全員がマスクを着用し、接触を避けるなど、細心の注意を払いましょう。

○外出・移動の際は、感染リスクが高い場所・場面はできるだけ避け、少人数で慎重に行動するようお願いいたします。

○会食等の場面は感染リスクが高まりますので、普段一緒にいる人

同士で少人数を基本とし、会話時は必ずマスクを着用してください。懇親の場でも、時間を決めてお酒は適量でお願いします。

お一人お一人の感染防止対策が、この局面を乗り切る大きな力となります。新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくために、重ねまして、県民の皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。